

鹿児島県大隅諸島屋久島におけるイソハサミムシの初記録

渡邊 卓実

The First Record of *Anisolabis seirokui* in Yakushima Island, Osumi Islands, Kagoshima Prefecture

WATANABE Takumi

キーワード：屋久島, イソハサミムシ

はじめに

鹿児島県大隅諸島に位置する屋久島は、世界自然遺産に登録されたことから分かるように、豊かな自然を誇り、九州最高峰の山を有するなど特異的な地形である。生物に関しても生息環境の特異性や生物多様性がみられ数多くの種が生息する。

屋久島の南部に位置する屋久島町栗生集落は島内有望の砂浜があり、その内の1つに塚崎海岸がある。塚崎海岸は、黒潮の影響を受け、多くの漂着物が流れ着き、その様な環境を好む多種多様な生物が観察できる場所として知られる。

今回、筆者らは塚崎海岸において、イソハサミムシ *Anisolabis seirokui* (以下、本種) 1頭を採集した。本種の屋久島での記録がなく、初記録と考えられるので、ここに報告する。

1 調査日・場所及び調査者

令和3年3月29日、鹿児島県熊毛郡屋久島町栗生塚崎海岸にて採集した。採集地点は図1に示す。

調査者

渡邊卓実・中村 幹

公益財団法人屋久島環境文化財団屋久島環境文化
研修センター研修課インストラクター

眞邊利加子

屋久島町教育委員会教育総務課総務管理係



図1 栗生塚崎海岸採集地点地図 (地理院地図から引用)

2 調査概要

現在、屋久島で既知分布するハサミムシ目 Dermaptera は、ムカシハサミムシ *Challiafletcheri* Nishikawa, 2006, ヒゲジロハサミムシ *Anisolabella marginalis* (Dohrn, 1864), ハマベハサミムシ *Anisolabis maritima* (Bonelli, 1832), キガシラハサミムシ *Paratimomenus flavocapitatus* (Shiraki, 1905), ミナミクギヌキハサミムシ *Forficula hiromasai* Nishikawa, 1970 の5種である (西川ら, 2016)。

屋久島町栗生の屋久島青少年旅行村側塚崎海岸 (図2) で、簀子状の木材の漂着物 (図3) 下より、ハマベハサミムシと本種を採集した。採集時、同じ漂着物の下より、40mmを超えるハサミムシ類が多数確認された。既知分布する5種の内、浜辺に生息するハサミムシ類は、ヒゲジロハサミムシ、ハマベハサミムシ、ミナミクギヌキハサミムシの3種である。上記の種の内、大型となる種は現在まで確認がない。そのため、今回、採集された本種が数個体、生息し

ている可能性が考えられる。



図2 屋久島町栗生青少年旅行村側塚崎海岸



図3 漂着物及び採集地点

3 結果

ハサミムシ亜科

Subfamily Anisolabidinae

ハサミムシ属

Gene *Anisolabis* Fieber, 1853

イソハサミムシ

Anisolabis seirokui Nishikawa, 2008 (図4-6)

検討標本 1ex.

鹿児島県熊毛郡屋久島町栗生（屋久島青少年旅行村側塚崎海岸），29.III.2021，渡邊卓実採集・同定・保管。



図4 イソハサミムシ*A.seirokui*（体長38.5mm）



図5 ハマベハサミムシ（左）とイソハサミムシ（右）の前胸背板による違い



図6 黄色の脚部

標本の特徴

イソハサミムシ*A.seirokui*（図4）は、ハマベハサミムシ*A.maritima*によく似るが、前胸背板が長い（図5）ことで識別できる（西川ら，2016）。♂の尾角は左右不対称になり、腹部第3～7（個体差により3～9）背板側部に隆起縁がある。肢は基部からフ節にかけて黄色（図6）となる。

本種と判断した特徴として、採集した個体の体長測定を防滴デジタルノギス（AD-5763-150，エー・アンド・デイ，東京）を用いて、0.1mmの精度で行った。結果、体長38.5mmであった。40mm近い体長になるハサミムシ類は屋久島において、確認がされていない。

上記のことから、同定及び判断をした。

また、本種の国内での分布は、本州（神奈川県，静岡県，三重県，京都府，大阪府，兵庫県，和歌山県，島根県，岡山県，広島県，山口県），城ヶ島，隠岐諸島（中ノ島，島後），伊豆諸島（八丈島），小笠原諸島（南硫黄島），四国（徳島県，愛媛県），九州（長崎県，大分県，宮崎県，鹿児島県），福江島，平戸島，大隅諸島（種子島，口永良部島，竹島），吐噶喇列島（口之島，悪石島），奄美群島（奄美大島，与論島），沖縄島，宮古列島（宮古島，多良間

島), 八重山諸島(石垣島, 西表島), 南大東島, 国外では朝鮮半島南部に分布する。北海道からの記録(西川, 2009)はあるが, 海岸から遠く離れているので疑わしいとされる(西川ら, 2016)。また, ニューサイエンス社出版の昆虫と自然, トカラ列島の直翅類によると, 口之島, 中之島, 諏訪之瀬島, 悪石島(山下, 2020)とあり, 中之島と諏訪之瀬島の新たに2つの島から記録され, それ以降に本種の新たな分布の報告はされていない。上記のことから屋久島では初記録と考える。

謝 辞

本報告をするにあたり, 鹿児島昆虫同好会の久保田義則氏, キャノッピ屋久島の中田隆昭氏から屋久島に産するハサミムシ目の情報提供などでお世話になった。また, 鹿児島昆虫同好会の山下秋厚氏には, 同定に関わる大変貴重な助言をいただいた。改めて深く感謝の意を申し上げます。

参考・引用文献

地理院地図 <http://maps.gsi.go.jp/#16/30.269>

251/130.413508/&base=pale&ls=pale&disp=1&vs=c0j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0&d=m

福田晴夫・山下秋厚・福田輝彦・江原憲治・二町一成・大坪修一・中峯浩司・塚田 拓(2020)昆虫の図鑑採集と標本の作り方, 増補改訂第2

版:200. 南方新社, 鹿児島。

八丈植物公園・八丈ビジターセンター

<http://www.tokyo-park.or.jp/nature/hachijo/creature/detail/0581.html>

伊藤修四郎・奥谷禎一・日浦 勇(1996)原色日本昆虫図鑑(下):2-54. 保育社, 大阪。

鹿児島県(2020)動物陸上昆虫類. 屋久島空港滑走路延伸事業に係る環境影響評価方法書(4):268, 274.

神崎真貴雄(2015)世界遺産屋久島の自然図鑑:169. メイツ出版, 東京。

小浜継雄・立田晴記(2020)トカラ列島の口之島と中之島のバッタ, ナナフシ, ゴキブリ, ハサミムシの記録. 鹿児島県立博物館研究報告(39):1-6.

中田隆昭・渡邊卓実(2021)屋久島の昆虫ガイド, 第2改訂版:14. 公益財団法人屋久島環境文化財団, 鹿児島

西川 勝(2009)利尻島・礼文島から得られたハサミムシの記録 附北海道産ハサミムシ関係文献目録. 利尻研究(28):61-65

西川 勝(2016)ハサミムシ目14. 日本産直翅類標準図鑑:176. 学研プラス, 東京。

山下秋厚(2020)昆虫と自然 Vol.55No.8(通巻737号)特集/トカラ列島の昆虫相トカラ列島の直翅類:22-25. ニューサイエンス社, 東京。

